

経済学委員会分科会の設置について

分科会等名：IEA 分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	経済学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>IEA (International Economic Association) は経済学の分野において各国の代表的な経済学会をメンバーとする国際組織であって、第二次大戦後、一貫して経済学に関する国際的な共同研究と研究情報の交流機構として、重要な役割を果たしてきた。日本はその発端から参加してきているが、Executive Committee Member としての継続的な貢献に加えて、会長として指導的な役割を果たしたこともある。活動の2本柱は3年に一度開催される世界大会と、随時に企画されて実行されてきた円卓会議であるが、その成果は経済学の標準的な参照文献として利用され、古典的な地位を確立した出版物も数多い。第19期の学術会議までは第3部(経済学)が日本の加盟組織となってきたが、第20期の改組によって、経済学委員会が加盟組織となることになった。ついては、日本の様々な経済学会との連携や、世界大会に関する組織的な協力や情報提供の中核となる組織として、経済学委員会 IEA 分科会を設置に至った。第23期からは、日本における経済学研究のハブとして、IEA を含む国際学会等の活動を支援することとなった。</p>
4	審議事項	<p>1. IEA 世界大会の支援 2. 円卓会議などの主催 3. 日本における経済学研究の国際発信の支援に係る審議に関すること。</p>
5	設置期間	平成29年10月30日～平成32年9月30日
6	備考	